

## みんなで育てた新鮮野菜

### 永井小3年生が店頭即売会

永井小学校(山本明彦校長、児童151人)の3年生23人は6月27日、学校農園で栽培したブロッコリー130個をAコープ花泉店の協力で店頭販売しました。

野菜は、3、4年生児童が総合学習の一環として地域学校ボランティアの指導の下で丹精込めて育てたもの。午前11時、子どもたちが「取れたてで、おいしいですよ」と呼びかけると、1個100円のブロッコリーが30分で完売する大盛況。水かけと草取りが大変だったと話す子どもたちは、お客さんから「おいしそう、とても上手にできたね」と声をかけられ満面の笑顔でうなずいていました。



「100円です。ありがとうございました!」と元気に販売する児童



親子そろっての作品づくりに会話が弾みました

## 親子でバルーンアート

### 子どもの本をもっと読もう研修会

「子どもの本をもっと読もう研修会」は7月1日、摺沢保育園で催され、幼児や小学生、保護者ら約120人がバルーンアートを楽しみました。研修は、親子のコミュニケーションを深めてもらおうと大東町保育施設保護者連合会・摺沢幼稚園父母の会などが主催したもの。

はじめは恐る恐る風船に触っていた参加者も次第に慣れ、色とりどりの細長い風船をポンプで膨らませ、ひねったり結んだり。昆虫や花など思い思いの作品を親子で一生懸命に作り、バルーンアートの楽しさを満喫していました。子どもたちは出来上がった作品を満足そうに見つめ、大喜びしていました。



こん身の一打が決勝点となりました

## 好プレー珍プレーに沸く

### 自治会対抗野球大会

第23回室根町自治会対抗野球大会(室根野球協会主催)は7月1日、室根きらめきパーク野球場と室根中学校校庭を会場に、10チームが参加して行われました。

前日までの雨の影響でグラウンドがぬかるむ中、トーナメント戦による熱戦が繰り広げられました。選手たちははつらつとしたプレーに、垂れ込めていた雲も次第に晴れ上がりました。選手たちは日ごろの運動不足も気にせずハッスル。珍プレーに笑い、好プレーに驚き、和気あいあいの中で親睦交流を図っていました。

試合結果は次のとおりです。▷優勝…12区自治会▷準優勝…屋中自治会

## 印刷機などを導入

### 自治会協議会でコミュニティ助成事業活用

千厩地域内の自治会31団体で構成する千厩町自治会協議会(皆上保宏会長)は、(株)自治総合センターの「宝くじの普及広報事業」コミュニティ助成事業を活用し、印刷機と広報編集用パソコンソフトを購入しました。

地域の住民自治を推進し、魅力あるまちづくりの役割を担っている同協議会では、まちづくりの情報や地域のニュースをきめ細やかに住民に伝えていくため、「地域だより」の発行や各自治会単位のお知らせなどに活用。これを機に、地域コミュニティーのさらなる推進が図られるものと期待されます。



導入された印刷機を大いに活用したいと喜ぶ皆上保宏会長



咲き誇るあでやかなアジサイの姿は、笑顔を誘います

# まちのトピックス

地域で開催されたイベントや身近なできごとを紹介します

in Ichinoseki

## 梅雨を彩る花の回廊

### みちのくあじさいまつり

みちのくあじさいまつり(あじさいの郷づくり協議会主催)は6月30日、舞川地区のみちのくあじさい園を会場に開幕しました。

まつり初日の園内では、クレナイやクロヒメなど早咲きの山アジサイが見ごろを迎え、西洋アジサイもアナベルなどが花を開かせていました。訪れた人たちは「きれいな」と語り合い、花のあでやかな姿をじっと眺めたりカメラに収めたりしながら、杉林の中に現れた2万5千株のアジサイの回廊をゆっくりと散策していました。

## どんなおやつができるかな

### 長坂小で昔のおやつ作り

長坂小学校(千葉喜代一校長、児童218人)の3年生46人は6月29日、市食生活改善推進協議会東山支部の推進員らの指導を受け、昔のおやつ作りを体験しました。「いわて食育支援事業」として健全な食生活を営む力を育てることを目的に行われたものです。

メニューは「げんべた」と「みょうがの葉やき」の二つ。子どもたちはクルミを刻んだり、生地を混ぜたりと上手におやつを完成させました。

吉田晴貴君は「生地のみそあんを包むのが難しかった。まわりがもちもちしておいしい」と自ら作ったげんべたをほおばりながら話してくれました。



食生活改善推進員に教えてもらいながら調理する子どもたち



上 「絵画や彫刻からも歴史がうかがえる」と語る海妻准教授  
左 熱心に聴き入る受講者

## 男らしさの変遷を探る

### 男女共同参画前講座

「男らしさの歴史」をひも解き、明治時代以降の近代社会の時代背景と「男性像」の関係を学ぼうと、市男女共同参画前講座は7月8日、川崎公民館を会場に催され、102人が受講しました。

「男性学」を専門とする岩手大学准教授の海妻径子さんを講師に迎え、近代社会における「男らしさの歴史」と社会における権力作用の密接な関係などについて聴講。「男らしさの歴史」として講演した海妻さんは「『男らしさ』とは、いったい何を指して言うのでしょうか。普遍的なものでしょうか」と会場に問いかけながら「そうではないという気付きが必要」と締めくくりました。